

市政記者各位

令和4年9月16日

アートに出会う アートファンになる18日間 FaN Week(ファンウィーク)スタート! 9/22プレス向け説明会、9/23オープニングイベント開催のお知らせ

福岡市では、美術館や福岡アジア美術館のこれまでの取組みをさらに発展させ、**彩りにあふれたアートのまち**を目指して、「Fukuoka Art Next」を推進しています。

いよいよ、9月23日(金・祝)から始まるFaN Weekのスタートを飾る、**プレス向け説明会及びオープニングイベント**を行います。

FaN Weekのスタートを見て感じられる絶好の機会となりますので、ぜひご取材いただきますようお願いいたします。

9/22プレス向け説明会

▶ シャジア・シカンダー作品の展示

9月23日から福岡アジア文化賞(芸術・文化賞)を受賞した**シャジア・シカンダー氏**の**作品展示**を行います。

9月22日には、一般公開を前に、**報道機関の皆さま向けの展示と、アジア美術館学芸員による解説**をいたしますので、ぜひご取材ください。

○9/22の取材受付

アーティスト カフェ フクオカ
受付場所: Artist Café Fukuoka
ギャラリースペース (中央区城内2-5)
受付時間: 10:00~11:00



▶ FWAP賞受賞作品シートの掲出

9月21日から9月22日にかけて、天神地区等にある建設現場の**仮囲い等へのFukuoka Wall Art 賞受賞作品の掲出**を行います(掲出場所と掲出作品は別添資料参照)。

9月22日には、掲出作品のアーティスト2名(アーティスト情報は裏面参照)にお越しいただき、作品への**サイン書き**や**ご取材の時間を設けます**ので、FaN Weekに先駆けて**アートがまちを彩り始める様子**や**アーティストの声を**、ぜひご取材ください。



昨年度のサイン書きの様子

○9/22のスケジュール

13:00 作品掲出作業開始
14:00 作品掲出完了
14:00~14:30 **サイン書き・ご取材時間**

○9/22の取材受付

受付場所: 星の広場
出入口階段
地上部付近
受付時間: 12:50~



【FWAP賞作品掲出に関する問い合わせ先】
所属: 経済観光文化局文化振興部文化振興課
横溝
TEL: 711-4664(1801)

【FWAP賞作品掲出以外に関する問い合わせ先】
所属: 経済観光文化局文化振興部課長
(アートのまちづくり推進担当)井上
TEL: 707-3779(1896)

9/23FaN Weekオープニングイベント

令和4年9月23日(金・祝)に開催するオープニングにおいては、トークセッションやライブペインティングなど、FaN Weekにふさわしい見どころが詰まっています。

詳しくは以下をご覧ください、是非ご取材いただきますようお願いいたします。

※オープニングに係る取材ポイント(予定のため、一部内容を変更させていただくこともございます。)

※別添参考資料のR4.9.9リリース資料もご参照ください。

➤ 「コレクターズアートと生きる四人」展(10:00~10:40・美術館近現代美術室B)

・コレクターズ展会場内事前撮影

※一般客入場前の撮影可能

➤ オープニングセレモニー(11:00~11:30・美術館アプローチ広場)

・市長挨拶

・チーフディレクター等挨拶

・アーティスト銀ソーダ氏によるライブペインティング

・登壇者記念撮影

※プレス席を設けます。



銀ソーダ氏

➤ トークセッション(12:00~13:30・美術館ミュージアムホール)

・登壇者

高島市長、宮津大輔氏(FaNWeekチーフディレクター、アートコレクター)、

熊谷正寿氏(GMOインターネットグループ株式会社 代表取締役グループ代表)、

松岡恭子氏(建築家)、西内まりや氏(モデル・アーティスト)

・テーマ

市民がアートを身近に感じるまちづくり

※セッションの様子を撮影可能

9/22作品掲出アーティスト紹介

・小島 拓朗氏(FWAP賞優秀賞受賞)

【経歴など】

1994年生まれ、2018年佐賀大学大学院地域デザイン研究科地域デザイン専攻芸術デザインコース修了。

福岡を拠点に活動を続け都市風景の連作を制作している。存在と不在に揺さぶられる自身の不可測な心の揺れ動きを持ちながら、日々うつつりかわる日常の風景を見つめ制作を続けている。



小島 拓朗「untitled」

・柏木 菜々子氏(FWAP賞入賞受賞)

【経歴など】

1977年生まれ、2000年筑波大学芸術専門学群美術専攻日本画コース卒業。

福岡を拠点に、福岡や関東等で発表を重ねる。

「愛すべき者たちの肖像・群像」をテーマに、動物や風化した建物を日本画で描いている。どこに居ようともゆるりと生きる、その者らしさを表現したい。



柏木 菜々子「祈り」

掲出場所・作品一覧

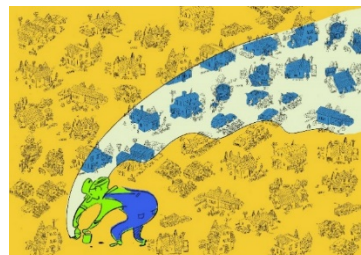
■ イムズ跡地 (天神1-7-11)



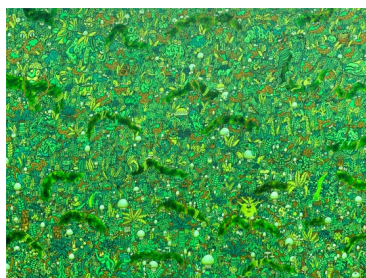
小島 拓朗
「untitled」



天野 百恵
「海のLine、山のLine、光のLine」



arata coolhand
「vital town painting」



画駱駝柑子
「誰かの原始林」



青柳 直希
「PEACE」

■ 因幡町通り地下通路内 (天神1-10)



谷尾 勇滋
「abstraction scape」

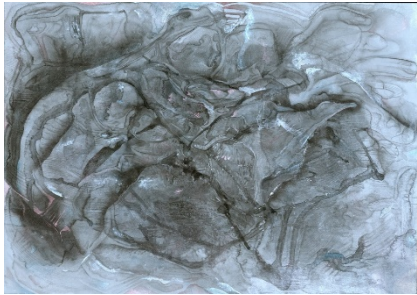


鈴木 淳
「On the Bed 002-3」



瀬戸口 朗子
「森の入口 遠景」

■福岡市役所北別館
解体工事（天神1-10-1）

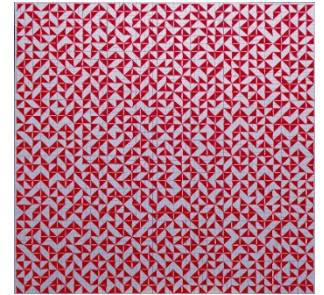


安藤 圭汰
「永劫はこれただ瞬時」

■MMT ビル解体工事
（天神1-10-13）



Wind
「想像」



神園 宏彰
「光と風の集積」

■天神コア・天神ビブレ跡地
（天神1-11）



柏木 菜々子
「祈り」



銀ソーダ
「刹那」

■ソラリアステージ（ソラリア
ビジョンそば壁面・ 天神2-11-3）



井口 麻未
「Today's attire -new style 29-」

■西日本シティ銀行本店本館
建設工事（博多駅前3-1-1）



IM DONGHWAN
「蛍光チェックリ絵」

令和4年 9月 9日
経済観光文化局

アートに出会う アートファンになる18日間

「FaN Week (ファンウィーク)」

9月23日(金・祝)～10月10日(月・祝)に福岡市で初開催！

福岡市は、彩りにあふれたアートのまちを目指して、暮らしの中で身近にアートに触れる機会を増やし、アーティストの成長支援に取り組む『Fukuoka Art Next (FaN)』を推進しています。

いよいよ、令和4年9月23日(金・祝)～10月10日(月・祝)の18日間、まちにアートがあふれる「FaN Week」を開催致します。

みやつ だいすけ

FaN Weekチーフディレクター「宮津 大輔 氏」監修のもと、9月23日の福岡市美術館アプローチ広場でのオープニングセレモニーを皮切りに、市美術館やアジア美術館、博多旧市街の寺院や建設現場の壁など、福岡のまちを巡り、アートに出会うウィークです。

イベントチラシも添付していますので、市民への周知及び取材にご協力よろしくお願いいたします。

オープニングイベント (市美術館エリア)

イベント会場の1つである市美術館会場では、9月23日(金・祝)から9月25日(日)にFaN Weekのオープニングを飾る様々な催しを行います。

高島市長、GMOインターネットグループの熊谷正寿氏、モデル・アーティストの西内まりや氏などをゲストに迎えてのトークセッションのほか、2022年Fukuoka Wall Art Project賞優秀賞作家「銀ソーダ氏」のライブペインティングを実施します。また、様々なアート作品を展示・販売するアートマルシェも開催します。

■ オープニングセレモニー

【会場】市美術館アプローチ広場

【日時】9月23日(金・祝) 11:00～11:30(予定)

【内容】・高島市長のオープニングあいさつ

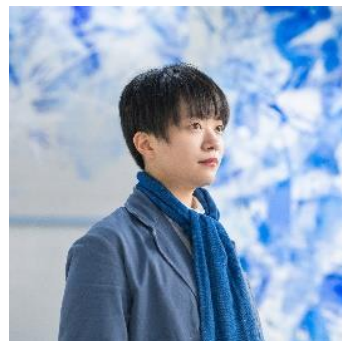
・チーフディレクター宮津大輔氏のあいさつ

・コレクターズ展ご協力者のご紹介

・福岡市出身アーティスト銀ソーダ氏によるライブペインティング



福岡市美術館外観



東区の銭湯跡地「大學湯」を活動拠点としているアーティスト、「銀ソーダ」さん

■トークセッション①

【会場】市美術館ミュージアムホール

【日時】9月23日（金・祝） 12:00-13:30（予定）

【テーマ】市民がアートを身近に感じるまちづくり

【登壇者】高島市長、宮津大輔氏、熊谷正寿氏、

松岡恭子氏、西内まりや氏

【募集人数】180名



たかしましちよう
高島市長



みやつ だいすけ
宮津大輔氏
FaNWeekチーフディレクター
アートコレクター



くまがい まさとし
熊谷正寿氏
GMOインターネットグループ株式会社
代表取締役グループ代表



まつおか きようこ
松岡恭子氏
建築家



にしう
西内まりや氏
モデル・アーティスト

■トークセッション②

【会場】市美術館ミュージアムホール

【日時】9月24日（土） 14:00-15:30（予定）

【テーマ】福岡が目指すアーティストフレンドリーな街とは

【登壇者】重松象平氏、名和晃平氏、榎本二郎氏

【募集人数】180名



しげまつ しょうへい
重松象平氏
建築家



なわ こうへい
名和晃平氏
彫刻家



えのもと じろう
榎本二郎氏
株式会社Zero-Ten
代表取締役

【トークセッション①②募集期間】令和4年9月9日から令和4年9月19日まで（先着順）

（※空きがある場合は当日の入場受付を行います。）

【応募方法】下記、FaN Week特設サイトから申込

URL:<https://fukuoka-art-next.jp/project/fukuokaartweek>



特設サイト

■ワークショップ&アートマルシェ

【会場】市美術館アプローチ広場

【日時】9月23日（金・祝）～9月25日（日） 10:00～17:00

※ワークショップは9月24日（土）まで

（23日（金・祝） 11:30～15:00、24日（土） 11:00～15:00）

【内容】・参加型ワークショップ

お子様も参加可能なライブペイントを開催します。

・4ブースのアートマルシェ

【オープニングイベントの問い合わせ先】

福岡市アートのまちづくり推進担当：092-707-3779



ワークショップ（イメージ）



アーティストとのコラボ商品（イメージ）

「コレクターズアートと生きる四人」展（市美術館エリア）

FaN Weekの期間中、広く市民の方々がアートを鑑賞し、楽しんでいただける機会として、市美術館近現代美術室Bでは、4人のコレクター（**家入一真氏、榎本二郎氏、小笠原治氏、熊谷正寿氏**）が所有する作品をコレクターの想いとともにご紹介します。

【会場】市美術館近現代美術室B

【日時】9月23日（金・祝）～10月10日（月・祝）

9:30～17:30（金・土曜日は20時）

※9月23日は11時30分開場

※入館は閉館30分前まで

【休館】9月26日（月）、10月3日（月）

【料金】一般200円、高大生150円、中学生以下無料

【問い合わせ先】福岡市アートのまちづくり推進担当：092-707-3779



いらいり かずま
家入一真氏
CAMPFIRE
代表取締役



えのもと じろう
榎本二郎氏
株式会社Zero-Ten
代表取締役社長



おがさわら おさむ
小笠原治氏
株式会社ABBALab
代表取締役
京都芸術大学教授



くまがい まさとし
熊谷正寿氏
GMOインターネットグループ株式会社
代表取締役グループ代表

■展示作品の一部紹介



友沢こたお
《slimeXLVII》



トニー・マテリ
《フィート（ネクタリンズ）》



香月 美菜
《0:24:55》



ジュリアン・オピー
《Army cap and white
T-shirt.》
©Julian Opie / courtesy of
MAHO KUBOTA GALLERY
©Julian Opie, All rights
reserved, DACS & JASPER,
Tokyo 2022 E4860

第32回福岡アジア文化賞 芸術・文化賞 受賞記念展示 シャジア・シカンダー作品の展示（市美術館エリア）

FaN Week期間中、市美術館エリアでは、今年度福岡アジア文化賞（芸術・文化賞）を受賞した**シャジア・シカンダー氏**の**作品展示**を行います。

アーティスト カフェ フクオカ

【会場】Artist Cafe Fukuoka ギャラリースペース（中央区城内2-5）

【日時】9月23日（金・祝）～11月27日（日）11:00～17:00

【休館】月曜日（10月10日（月・祝）は開館、10月11日（火）休館）

【料金】無料

【問い合わせ先】福岡市アートのまちづくり推進担当：092-707-3779



屋外アートとライトアップ（博多旧市街エリア）

日本の中世最大の貿易港湾都市として栄え、その歴史と文化を今に伝える「博多旧市街」で、アートの展示と寺社のライトアップなどを実施します。

屋外に展示されるアート作品と共に、美しくライトアップされた寺社の夜の風情を楽しめます。また、冷泉公園では、ステージイベントやアート作品の展示・販売、飲食などが楽しめるマルシェを開催します。



東長寺のライトアップ（令和元年）

■屋外アートとライトアップ

【会場】東長寺、妙楽寺、櫛田神社、龍宮寺、冷泉公園

【日時】9月30日（金）～10月3日（月）17:30～21:00（櫛田神社は22時まで）

※櫛田神社、龍宮寺、冷泉公園のアート作品の展示は
10月10日まで（月・祝）

【料金】無料

■マルシェ

【会場】冷泉公園（博多区上川端町7-109）

【日時】9月30日（金）～10月3日（月）17:00～22:00

※10月1日（土）、2日（日）は12:00～22:00まで

【問い合わせ先】アート作品の展示については福岡市文化振興課：092-711-4969

その他全体については福岡市地域観光推進課：092-711-4984



イ・ビョンチャン《生き物》2019年
※参考作品

エモーショナル・アジア 宮津大輔コレクション×福岡アジア美術館（博多旧市街エリアなど）

「エモーショナル・アジア」は、宮津大輔氏が1990年代から収集したアジアの現代アートと、福岡アジア美術館のコレクションを組み合わせた企画展です。

アジアの歴史や現代社会、ジェンダーなど、私たちに関わりの深い四つのテーマで、絵画、彫刻、写真、映像など、45作家95点を紹介します。

【会場】福岡アジア美術館

【日時】9月15日（木）～12月25日（日）

9:30～18:00（金・土曜日は20時）

※入室は閉室30分前まで

※開会式を9月15日（木）9:00-9:15同会場にて実施

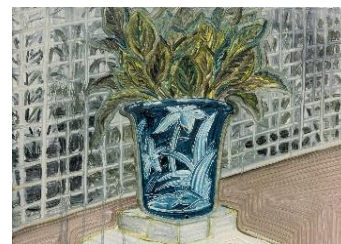
【休館】水曜日（11月23日（水・祝）は開館、11月24日（木）休館）

【料金】一般500円、高大生250円、中学生以下及び

市内に住む65歳以上は無料



アジア美術館外観



リュウ・ジーホン（劉致宏）[台湾]
《青い植木鉢》、2018年、宮津大輔氏所蔵

■ サテライト会場①

韓国の美術作家チェ・ジョンファによる巨大なバルーンの作品と、バングラデシュの華やかなリキシャを展示

【会場】ポートルース福岡

【日時】9月23日（金・祝）～10月30日（日）

※期間中のうち、9月29日、10月4日、10月11日～14日、
10月21日～24日は開催しません。

【料金】入場料100円

※9月30日～10月3日は芝生広場を無料開放

※無料シャトルバス運行（国際会議場⇄ポートルース福岡⇄福岡アジア美術館）



チェ・ジョンファ [韓国]
《息をする花》2018年、作家蔵

■ サテライト会場②

博多旧市街に残る福岡市指定有形文化財の幻住庵「虚白院庵室」では、この期間特別にシンガポール気鋭の作家ヒルミ・ジョハンディによる映像インスタレーションを展示

【会場】幻住庵（博多区御供所町7-1）

【日時】9月27日（火）～10月10日（月・祝）10:00-17:00

【料金】無料



幻住庵「虚白院庵室」



ヒルミ・ジョハンディ [シンガポール]
《カメリア》2014年、宮津大輔氏所蔵

■ サテライト会場③

「アジア」に特化して共生の街づくりに取り組む吉塚市場リトルアジアマーケットで、アジア各国の多様な社会や文化を映し出す映像作品を展示

【会場】吉塚市場リトルアジアマーケット（博多区吉塚1-20-3）

【日時】9月23日（金・祝）～10月6日（木）10:00-17:00

※10月6日（木）は15:00まで

【料金】無料

【問い合わせ先】福岡アジア美術館：092-263-1100



トロマラム [インドネシア]
《ザー・ザー・ズー》2007年、宮津大輔氏所蔵

アートフェアアジア福岡2022（ウォーターフロントエリア）

9月30日（金）からの4日間、福岡国際会議場とホテルオークラ福岡の2会場
で、「アートフェアアジア福岡2022」が開催されます。アートフェアアジア福岡は2015
年より開催している、九州・中四国・沖縄地域で唯一のアートフェアです。

両会場合わせて国内外から75ギャラリーがさまざまなアート作品を展
出します。

【会場】福岡国際会議場、ホテルオークラ福岡

【日時】9月30日（金）～10月3日（月）

【料金】2,500円（前売り2,000円）

【詳細】ホームページ（「アートフェアアジア福岡」で検索）でご確認ください。

【問い合わせ先】アートフェアアジア福岡事務局：050-5896-3124



アートフェアアジア福岡2021
（博多阪急会場）

Fukuoka Wall Art Project (天神・博多エリア)

美術分野のアーティストに建設現場の仮囲い等を活用し、まちなかでの発表の場と作品を展示・販売する機会を提供することで、アーティストのさらなる活躍につなげるとともに、アートによるまちの賑わいの創出を図る Fukuoka Wall Art Project。

FaN Week では、9月23日（金・祝）に合わせ、建設現場の仮囲い等にFukuoka Wall Art賞の受賞作品を掲出します（※）。

受賞作品については、アートフェアアジア福岡や市内イベントスペースなどで展示、販売を行います。

※9月22日（木）に掲出作業の場にアーティストによる、サイン書き等を行っていただく予定です。（別途ご案内します。）

【問い合わせ先】福岡市文化振興課：092-711-4969

FFWAMP
FUKUOKA WALL ART PROJECT



昨年の掲出状況



今年の受賞作品
小島 拓朗<untitled>

主なFaN Week 連携イベント

FaN Week期間中、市内各所でさまざまな連携イベントが開催されます。

「東区芸術文化祭」ではFaN Week連携イベントとして、なみきスクエア（東区千早）で、福岡市出身のアーティスト「銀ソーダ氏」の作品展やワークショップ、インスタレーションが楽しめます。

また、ワインバー「オ・ポルドー・フクオカ」では「博多絵師 雄猿」のアート作品と共にワインが楽しめます。

そのほかにも、民間主催のアート関連イベントを予定しており、その会場や周辺、飲食店等を巡りスタンプを集めると、来店特典やノベルティなどのプレゼントがもらえるデジタルスタンプラリーも実施します。

【日時】9月23日（金・祝）～10月10日（月・祝）の間に各所で実施

【詳細】ホームページ（「フクオカアートネクスト」で検索）でご確認ください。

URL:<https://fukuoka-art-next.jp/project/fukuokaartweek>

【問い合わせ先】福岡市アートのまちづくり推進担当：092-707-3779



東区箱崎にある「銀ソーダ氏」の活動拠点の銭湯跡地「大學湯」内部

【本件リリースの問い合わせ先】

福岡市経済観光文化局文化振興部アートのまちづくり推進担当

担当：井上、南

TEL：092-707-3779 / FAX：092-733-5537

Mail：art-community.EPB@city.fukuoka.lg.jp

FaN Week

アートに出会う
アートファンになる 18日間

博多旧市街の寺院や建設現場の壁など、
市美術館やアジア美術館、
福岡のまちを巡り、アートに出会うウィークです。



KYNE《Untitled》2020年 (c)2020 LOCUS Inc. All Rights Reserved.



ジュリアン・オビー [イギリス]《アーミーキャップと白いTシャツ》
2015年
©Julian Opie / courtesy of MAHO KUBOTA GALLERY
©Julian Opie, All rights reserved, DACS & JASPER, Tokyo
2022 E4860



木村剛士《ヘアラーオブアメッセージ》2015年



ムルヤナ《サガラ》2022年



神園宏彰《光と風の集積》



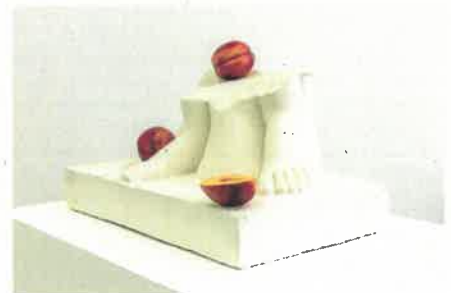
栗貝由美《builds crowd》2011年



青柳直希《PEACE》



チェ・ジョンファ [韓国]《息をする花》2018年、作家蔵
Choi Jeonghwa (South Korea) Breathing Flower, 2018,
Collection: Artist



トニー・マテリ《フィート (ネクタリンズ)》2022年

主催：福岡市 チーフディレクター：宮津大輔

2022.9.23 日 - 10.10 月

FaN Week

FUKUOKA ART MAP

FaN Week
スタンプラリー
開催中!



チェ・ジョンファ【韓国】《物々宇未花》2019年、作
家画
Choi Ahngraek (South Korea) Breathing Flower,
2019, Collection: Artial



1 福岡市美術館エリア

9/23 金・祝 - 9/25 日 オープニングイベント
9/23 金・祝 - 10/10 月・祝 コレクターズ展
9/23 金・祝 - 11/27 日 福岡アジア文化賞受賞作品展

【会場】福岡市美術館 / Artist Cafe Fukuoka

オープニングイベントではトークセッション、アーティストたちによるライブペイントやアートマルシェを開催します。コレクターズ展では4人のコレクターの所蔵作品を展示します。



福岡市美術館

2 ウォーターフロントエリア

9/30 金 - 10/3 月 アートフェアアジア福岡 2022

【会場】福岡国際会議場 / ホテルオークラ福岡

アートフェアアジア福岡は2015年より開催している、九州・中四国・沖縄地域で唯一のアートフェアです。国内の文化芸術の魅力をアジアへ発信し、グローバルなアートフェアを目指しています。

※ ホテルオークラ福岡のみ10月2日(日)終了



アートフェアアジア会場

3 博多旧市街エリア

9/30 金 - 10/10 月・祝 屋外アート展示×ライトアップ

【会場】東長寺、妙楽寺、櫛田神社、龍宮寺、冷泉公園

寺社をメイン会場にアート作品とともに夜の風情を楽しむ催しを実施します。

※ 東長寺・妙楽寺は10月3日(月)までで終了



東長寺

4 エモーショナル・アジア 宮津大輔コレクション×福岡アジア美術館

9/15 木 - 12/25 日

【メイン会場】アジア美術館 アジアギャラリー

【サテライト展覧会場】ポートルース福岡、幻住庵、吉塚市場リトルアジアマーケット内アジアプラザ

1990年代から国内外の現代美術を蒐集し、特化した珠玉のコレクションをマッチングして紹介する特別企画展です。

※ 各会場の会期、展示時間など詳細はイベントHPでご確認ください。



福岡アジア美術館

5 Fukuoka Wall Art Project

天神や博多駅にある工事現場の仮囲い等には、Fukuoka Wall Art 賞受賞作品を掲出しています。工事現場を彩るアートをお楽しみください!



FaN Week 連携イベント

FaN Week 開催期間中は、アートに触れて、体感していただける民間主催イベントが市内各所で開催されます!

FaN:福岡市では彩りにあふれたアートのまちを目指して、暮らしの中で身近にアートに触れる機会を増やし、アーティストの成長支援に取組む「Fukuoka art Next」を推進しています。

主催・お問い合わせ

福岡市経済観光文化局 文化振興部
アートのまちづくり推進担当

〒810-8620 福岡県福岡市中央区天神1丁目8番1号
TEL : 092-707-3779 / FAX : 092-733-5537

協賛企業



こちよく、生きよう。
LANDIC

イベントの詳細はこちらから▼

